

### 1. 本授業科目の基本情報

講義名 (コード)	THB103A	プレゼンテーション演習 I A		
科目名 (コード)	THB103A	プレゼンテーション演習 I A		
対象学科	グローバルビジネス学科		配当学年	1年生
対象コース	HB1		単位数	2単位30
授業担当者	長島洋介・榎本 由依		時間数	
成績評価教員	長島洋介		講義期間	春期
実務者教員	いいえ		履修区分	
実務者教員特記欄				

### 2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	英語でのプレゼン大会やスピーチコンテストなどへ率先して参加するくらいの英語発信力とコミュニケーション力を身につける
全体の内容と概要	パワーポイントを使用して自分の考えや課題トピック内容を調べ、日本語でも英語でも公共の場で発信できる英語力を学ぶ
授業時間外の学修	各講義の予習と復習
履修上の注意事項等	各受講者は、英語単語帳を各自作成し自己の英単語力を伸ばすこと。

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	自己紹介・講義内容説明・基本英語学習	英語で自己紹介（氏名・出身校・なぜTB1に入学したか・卒業後は何をするか・好きな色・好きな食べ物・行ってみたい国等）
2	Session 1: 上手なプレゼントは？①	分かりやすい、伝わりやすい、理解しやすいプレゼンテーションとはどのような要素があるかを研鑽
3	Session 2: 英語で自己紹介	英語で自己紹介、講義内容と評価方法などを説明。日本の義務教育で学んできた英語よりさらにレベルアップした実践英語の学習法について説明
4	Session 3: 日本の英語教育のプラスとマイナス	「なぜ日本人は英語のアウトプットが弱いのか」を日本の教育・文化・習慣より日本の歴史的背景に基づいて学び、改善方法を学ぶ
5	Session 4: 日本国内プレゼンテーション準備①	日本都道府県が記載されたくじ引きを1つを引き、割り当てられた都道府県についてプレゼン（個人）をする。
6	Session 5: 日本国内プレゼンテーション準備②	日本都道府県が記載されたくじ引きを1つを引き、割り当てられた都道府県についてプレゼン（個人）をする。
7	Session 6: 日本国内プレゼンテーション発表	各自自分のPPTプレゼンテーションを発表。他の学生が発表時には評価者として互いの発表の評価をする。各自発表終了後は「良かった点」「改善した方が良い点」等を
8	Session 7: 上手なプレゼントは？②	発表時の話す速さ、語彙選択、ポウジングなどのスピーチのテクニックについて学ぶ
9	Session 8: 海外プレゼンテーション準備①	世界の国々が記載されたくじ引きの1つを引き、割り当てられた国についてプレゼン（個人）をする。
10	Session 9: 海外プレゼンテーション準備②	世界の国々が記載されたくじ引きの1つを引き、割り当てられた国についてプレゼン（個人）をする。
11	Session 10: 海外プレゼンテーション発表	各自自分のPPTプレゼンテーションを発表。他の学生が発表時には評価者として互いの発表の評価をする。各自発表終了後は「良かった点」「改善した方が良い点」等を
12	Session 11: 自分の将来の夢 プレゼン準備①	自分の将来の夢についてプレゼンテーションを行う
13	Session 12: 自分の将来の夢 プレゼン準備②	自分の将来の夢についてプレゼンテーションを行う
14	期末試験	自分の将来の夢についてプレゼンテーションを行う
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	アル・ゴア氏による「地球温暖化現象のプレゼンテーション」からプレゼンテクニックを学ぶ
備考	